| 単　位　事　務　名 |
|---|

# 管　理　職　手　当

〈コード〉０３１７

| | |
|---|---|
| 根拠及び参考法令 | 鹿児島県職員の給与に関する条例　【職員給与条例】<br>給与条例の運用方針について（通知）　【昭和58年11月21日人第280号】<br>鹿児島県学校職員の給与に関する条例　【学校職員給与条例第７条の６】<br>管理職手当の支給に関する規則　【昭和34年２月２日規則第３号】<br>義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例<br>【昭和46年12月22日条例第47号】<br>職員の給料の特別調整額に関する規則　【昭和35年９月24日規則第90号】<br>給与関係コード表（職コミ・ライブラリ掲載）　【県発行】<br>鹿児島県職員給与データ収集・配信システムマニュアル【平成25年5月企画部情報政策課】<br>給与事務処理要綱　【平成５年12月24日会計課長通知】 |
| 項　目 | 処　理　方　法 |
| 支給要領 | 管理又は監督の地位にある学校職員のうち，任命権者が人事委員会と協議して定める職にある者に対しては，管理職手当を支給する。<br>【学校職員給与条例第７条の６】 |
| 支給範囲 | 手当を支給する職は管理職手当の支給に関する規則第２条別表第１から別表第４までのとおりとする。<br>管理職手当の支給に関する規則（昭和34年教育委員会規則第３号）別表第１，別表第２及び別表第３に掲げる「教育委員会が人事委員会と協議して定める職（校長又は教頭）」とは次表の学校に置かれる校長又は教頭とする。<br><br>(1) 別表第１に掲げる校長（次表に掲げる学校の校長）<br>（基準：小学校　24学級以上，中学校　18学級以上<br>高等学校16学級以上，特別支援学校45学級以上） |

| 学校区分 | 学　校 |
|---|---|
| 高等学校 | 鶴丸高等学校，甲南高等学校，鹿児島中央高等学校，錦江湾高等学校，武岡台高等学校，開陽高等学校，松陽高等学校，鹿児島工業高等学校，鹿児島南高等学校，伊集院高等学校，川内高等学校，川内商工高等学校，加治木高等学校，加治木工業高等学校，国分高等学校，鹿屋高等学校，鹿屋農業高等学校，鹿屋工業高等学校，大島高等学校，奄美高等学校 |
| 特別支援学校 | 武岡台養護学校，鹿児島養護学校，串木野養護学校，出水養護学校，牧之原養護学校 |

| 項　　目 | 処　　理　　方　　法 |
|---|---|
| 手　当　額 | (2) 別表第２に掲げる校長（次表に掲げる学校の校長）<br>（基準：小学校　18学級以上23学級以下，中学校　15学級以上17学級以下<br>高等学校 9学級以上15学級以下，特別支援学校12学級以上44学級以下）<br><br>学校区分：高等学校<br>学校：明桜館高等学校，鹿児島東高等学校，指宿高等学校，枕崎高等学校，鹿児島水産高等学校，加世田高等学校，加世田常潤高等学校，川辺高等学校，薩南工業高等学校，吹上高等学校，市来農芸高等学校，川薩清修館高等学校，薩摩中央高等学校，鶴翔高等学校，野田女子高等学校，出水高等学校，出水工業高等学校，大口高等学校，霧島高等学校，蒲生高等学校，隼人工業高等学校，志布志高等学校，串良商業高等学校，種子島高等学校，種子島中央高等学校，屋久島高等学校，校徳之島高等学校，沖永良部高等学校<br><br>学校区分：特別支援学校<br>学校：鹿児島盲学校，鹿児島聾学校，桜丘養護学校，皆与志養護学校，指宿養護学校，南薩養護学校，加治木養護学校，鹿屋養護学校，中種子養護学校，大島養護学校，鹿児島高等特別支援学校<br><br>(3) 別表第３に掲げる教頭（上記別表第１，別表第２に掲げる学校の教頭）<br>なお，教頭が複数名配置されている学校にあっては，第１位代決者に限ることとするが，開陽高等学校については，総括教頭，全日制教頭第２位代決者及び通信制教頭に限ることとする。<br>（基準：小学校　18学級以上，中学校　15学級以上<br>高等学校 9学級以上，特別支援学校12学級以上）<br><br>適用年月日　平成26年４月１日<br>【平成26年４月25日鹿教教第39号通知】<br><br>手当の額は，管理職手当の支給に関する規則第３条別表第５に定める額とする。<br>別表第５（第３条関係）<br>ア　教育職給料表（二） |

| 職 | 職務の級 | 手当の額 |
|---|---|---|
| 別表第１に掲げる職 | ４級 | 72,800円 |
| 別表第２に掲げる職 | ４級 | 63,700円 |
| | ３級 | 60,700円 |
| 別表第３に掲げる職 | ４級 | 54,600円 |
| | ３級 | 52,000円 |
| 別表第４に掲げる職 | ３級 | 43,300円 |

<table>
<tr><th>項　　目</th><th>処　　理　　方　　法</th></tr>
<tr><td></td><td>
イ　教育職給料表（三）
<table>
<tr><th>職</th><th>職務の級</th><th>手当の額</th></tr>
<tr><td>別表第１に掲げる職</td><td>４級</td><td>69,500円</td></tr>
<tr><td>別表第２に掲げる職</td><td>４級</td><td>60,800円</td></tr>
<tr><td>別表第３に掲げる職</td><td>４級<br>３級</td><td>52,100円<br>51,600円</td></tr>
<tr><td>別表第４に掲げる職</td><td>３級</td><td>43,000円</td></tr>
</table>
ウ　行政職給料表
<table>
<tr><th>職</th><th>職務の級</th><th>手当の額</th></tr>
<tr><td>別表第３に掲げる職</td><td>７級<br>６級</td><td>53,100円<br>49,900円</td></tr>
<tr><td>別表第４に掲げる職</td><td>６級<br>５級</td><td>41,600円<br>39,700円</td></tr>
</table>
エ　海事職給料表
<table>
<tr><th>職</th><th>職務の級</th><th>手当の額</th></tr>
<tr><td>別表第３に掲げる職</td><td>６級</td><td>55,600円</td></tr>
<tr><td></td><td>５級</td><td>51,400円</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>支　給　方　法</td><td>「鹿児島県職員の給与に関する条例第６条」に規定する給料の支給方法に準じる。<br>【管理職手当規則４条】</td></tr>
<tr><td>支　給　制　限</td><td>１　月の１日から末日までの期間の全日数にわたって勤務しなかった場合は支給しない。<br>ただし，次の場合は除く。<br>①　「鹿児島県職員の給与に関する条例」第20条第１項の場合。<br>②　公務上負傷し，若しくは疾病にかかり，又は通勤（地方公務員災害補償法〈昭和42年法律第121号〉第２条第２項に規定する通勤をいう。以下同じ。）により負傷し，若しくは疾病にかかった場合（外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例〈昭和63年鹿児島県条例第３号〉第３条第１項に規定する派遣職員が派遣先の業務上負傷し，若しくは疾病にかかり，又は通勤により負傷した場合を含む。）であって，県職員給与条例第14条の規定により勤務しないことにつき特に承認のあった場合。　【管理職手当規則第５条】<br>２　管理職手当が支給される職員に対しては，超過勤務手当，夜勤手当，休日給は支給しない。　【運用第８条の２関係第１項３】</td></tr>
<tr><td>定期異動時<br>電算報告</td><td>※　各人事管理者で支給率を入力するので，給与支給内訳書出力後に金額の確認を行う。<br>（教頭の２人配置校は，特に注意を要する。）</td></tr>
<tr><td>その他の<br>電算報告</td><td>※　「支給が一時停止になった場合」及び「一時支給停止になった者が再び支給する場合」は，「諸手当停開報告書」で報告する。</td></tr>
</table>